

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況
No.18 令和2年9月～令和2年10月
胆江地区衛生センター

調整に向けて、各種更新作業が大詰めを迎えました。

10月半ばから行われる静調整（ごみを燃やさずに行う調整作業）に向けて、9月から10月には更新作業終盤の工程が進められました。



更新された煙突ノズル

煙突工事

9月末に煙突の内部清掃とノズル（煙突頂部の排気をおこなう部分）の更新作業を行いました。

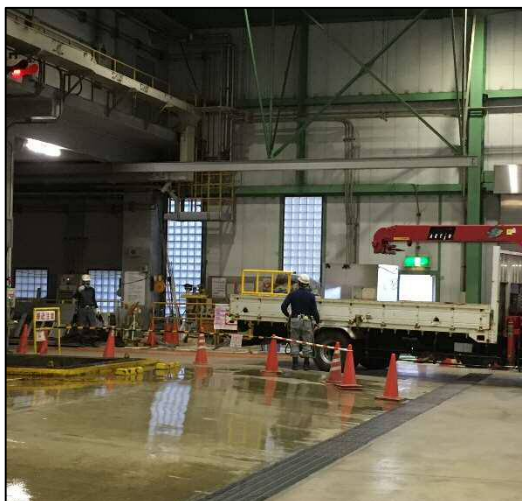
炉の更新により排気量が少なくなったため、ノズル出口からの流速が下がってしまわないように、出口の直径が小さなノズルに変更されています。



溶接部の検査の様子

前処理装置更新

畳や大きな木などを裁断する「前処理装置」の一部更新を行いました。コンベヤの駆動電動機等が高効率なものになり、より省エネルギーで稼働が出来るようになりました。



搬入の様子（左）、更新した前処理装置コンベヤ（右）

クレーンが解体され、駐車場の復旧作業が始まりました。

更新機器の搬出入に使用した大型クレーンの解体撤去作業が10月11日に行われました。10月19日からは外構工事が開始され、クレーンの重さで劣化してしまったアスファルトの復旧作業などが進められています。



小型クレーンによる大型クレーンの解体



劣化したアスファルトの撤去作業

1号炉設備の静調整が行われています。

静調整

10月15日から無負荷状態での静調整が始まり、機器の点検や更新された配管の清掃等が行われています。施工業者による運転教育も順次開始され、新設設備の運転方法について職員らが説明を受けました。

静調整は11月半ばまで行われ、11月末からは実際にごみを燃やす負荷運転を実施する予定です。



調整機器の監視制御を行う試運転員